

区 分	1 結婚に対する取組
関連事業メニュー	(1) 結婚支援の取組を行う結婚支援センター等の開設・運営、同センター等におけるマッチングシステムの構築・高度化等により、各地域における結婚支援の基盤を整備するための取組（ただし、施設整備に係る部分は除く。）
個別事業名	高知県出会い・結婚・子育て応援窓口運營業務
所要見込額	27,524 千円(交付決定額13,762千円)
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置づけ	<p><b>より多くの独身者の希望を、より早く叶えるための取組をする事業</b>  <b>【取組み】</b>      少子化対策の「未婚化・晩婚化対策」として、「より多くの独身者の希望を、より早く叶える」よう、「①出会いの機会の拡大・強化」、「②独身者に対するきめ細かな支援」、「③結婚の機運の醸成」を柱に取組みを進めていくための中核となる事業として「出会い・結婚・子育て応援窓口」の運營業務を行う。      ※取組にあたっては、「結婚、妊娠、出産」の押し付けにならないよう、個人の価値観や選択に十分配慮した上で実施する。      ※婚活サポーターによる1対1のお引合せ、県主催及び応援団主催イベントの実施により、独身者の出会いの場は増えたが、自分に合った相手をより効率的に探せる仕組みが必要であるため、H28年1月に「こうち出会いサポートセンター」を開設し、4月にマッチングシステムを本格稼働させた。7月には、県東部、西部地区にも支所を開設し、独身者の利便性の向上を図った。</p> <p><b>高知県の未婚化・晩婚化の状況</b>  <b>【統計データ】</b>      ○初婚年齢(2016年)男性30.9歳(全国14位)、女性29.4歳(全国10位)      ○婚姻数(2016年)2,915件、出生数4,779人、合計特殊出生率1.47(全国32位)      ○生涯未婚率(2015年)男性24.82%(全国9位)、女性16.48%(全国4位)  <b>【出会いから結婚・子育てまでの切れ目ない支援のための県民意識調査の結果(2015年)】</b>      ○結婚したい(したかった)年齢:男性30.3歳、女性27.9歳      ○結婚を希望する独身者(割合):79.8%      内訳:「すぐにでも結婚したい」10.4%、「5年以内に結婚したい」16.6%、      「いずれは結婚したい」52.8%、      ○「結婚していない理由」:1位「適当な相手にめぐり合わない」(44.5%)の他にも「異性とうまく付き合えない」11.6%  <b>【統計データ及び調査結果より】</b>      ○高知県では、8割の独身者が結婚を希望し、そのうち3人に1人は出来る限り早く結婚を希望している。      ○また、結婚を希望する独身者のうち約半数の方は「適当な相手にめぐり合わない」と思っている。      ○さらに、独身者の中には、「異性とうまく付き合えない」と実際にに関する不安を持っていることも伺える。  <b>【課題】</b>      1 出会いや結婚を希望する独身者への出会いの機会の提供・拡充      ①マッチングシステムの活用促進      ・マッチングシステム会員登録者数の増      ・マッチングシステムの利便性の向上      ・申込を確実にお引合せにつなげ、さらに交際・結婚へとつなげる工夫      ②応援団による結婚支援の充実      2 出会いや結婚を希望する独身者へのきめ細かな支援の充実      ・マッチングサポーター・イベントサポーター(～H28年度まではカップルサポーター)・婚活サポーターの養成  <b>【事業実施により見込まれる効果】</b>      引き続き、出会いや結婚への支援を希望する独身者への出会いの機会の提供・拡充やきめ細かな支援の充実を行うなど総合的な結婚支援を推進することで、独身者の登録拡大等が図られるとともに高知県全体の結婚の機運の醸成につながる。      1 結婚支援事業を活用する独身者の増加につながる      現在の3センター(県中部(高知市)、県東部(安芸市)、県西部(四万十市))体制に加え、各市町村等において出張登録・閲覧会の開催、出張相談コーナーの実施、繁忙期におけるマッチングブースの増設、ビッグデータの導入(別事業:結婚支援システムの再構築)を行うなど「こうち出会いサポートセンター」の取組強化を行うことで、相談や情報提供、マッチングシステムを活用した検索・閲覧やお引合せのお申込みが、気軽に利用できるようになるため、独身者の登録拡大につながる。      2 独身者を応援する応援団や支援するボランティア数が増え、地域の結婚の機運の醸成につながる      事業の運営委託については、引き続き「一般社団法人高知県法人会連合会」を予定しており、支所についても法人会の単位会の事務所内を想定。法人会事務所を支所とすることで、法人会会員である企業や団体に対して、応援団としての独身者支援への協力依頼も可能となり、併せて、会員企業内の独身者へ</p>

<p>各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置づけ</p>	<p>の声かけも可能となる。</p> <p>また、地域に窓口があることにより、管内市町村や会員企業との連携がよりスムーズにでき、ボランティア募集やボランティア活動の拡大も見込める。</p> <p>3 独身者を支援するボランティアに対して県事業（マッチングシステムなど）を説明する機会を持つことで有機的な連携を図ることができる</p> <p>窓口では、県が行う結婚支援に関する施策の情報提供を行い、新たに、マッチングシステムを活用した出会いの機会を提供することとしている。県が独身者の様々なニーズに対応した事業を実施することで、独身者は自分に合った出会いの機会を選択し、「より多くの独身者の希望を、より早く叶える」可能性が広がる。また、独身者を支援するボランティアに対して、研修等で県が実施する結婚支援事業の紹介を行うことで、独身者の状況を把握したサポーターの助言は、独身者にとって新たな出会いの機会の選択を行う可能性が広がるきっかけとなる。</p> <p>（実例）婚活サポーターから、H28.1 月に開設した「こうち出会いサポートセンター」の取組や、マッチングシステムについて詳しく教えて欲しいという意見があり、H28.2 月のサポータースキルアップ研修の1テーマとして説明を実施した。婚活サポーターの相談者として登録している独身者から質問に答えるため、また、サポーターの引合せで成功しない独身者に対する出会いの場の情報提供として知りたいという意向で実施したものである。</p>
<p>個別事業内容</p>	<p>（個別事業の内容）</p> <p><b>1 出会いの機会の拡大・強化</b></p> <p><b>出会いの機会が少ない独身者に対する支援</b></p> <p>①こうち出会いサポートセンター（高知）でのマッチングシステム活用による精度の高い個別マッチング実施</p> <p>H28.4.1～閲覧・検索・お引合せスタート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口運營業務（独身者の会員登録、閲覧・検索を行う窓口の運営）</li> <li>・お引合せの申込受付、引合せ場所及び1対1のお引合せに立ち会うマッチングサポーターの調整</li> <li>・窓口広報（管内市町村への住民に対する広報物配布依頼、管内企業訪問）</li> </ul> <p>②こうち出会いサポートセンター安芸及び四万十でのマッチングシステム活用による制度の高い個別マッチング実施</p> <p>H28.7.11～東部支所（安芸）開設、H28.7.13～西部支所（四万十）開設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口運營業務（独身者の会員登録、閲覧・検索を行う窓口の運営）</li> <li>・お引合せの申込受付、引合せ場所及び1対1のお引合せに立ち会うマッチングサポーターの調整</li> </ul> <p>③応援団への登録拡大及び応援団イベントの開催に対する支援（多種多様なイベントの充実）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独身者に対して出会いの機会を提供することに関心等のある企業や団体に対して、イベント開催のノウハウを教え、また、初回開催時には司会料や会場使用料等に使える経費を助成し、継続的にイベントを開催することができる企業や団体を支援する。</li> </ul> <p>（応援団実施イベント例）地域に若者を定住させるための地域おこし体験型イベント（かつおのたたきづくり体験や農産物の収穫）、飲食店の雰囲気を活かした少人数でゆっくり話せるアルコール付きイベントなどを実施</p> <p>④婚活サポーターが実施する相談者の交流の場に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独身者を支援する婚活サポーターや相談者が定期的に交流できる場とするための会場の確保（交流の場の例）独身者のお引合せを行うためにサポーター同士が集まり独身者情報を交換</li> </ul> <p>⇒（昨年度からの工夫点）</p> <p>現在の「こうち出会いサポートセンター」を移設し（移設費用については県費負担）、マッチングブース数を3から4に増やすとともに、開所日の増の検討を行うなど、マッチング会員の利便性の向上を図る。</p> <p>また、地域でのイベント等を活用した出張登録・閲覧会や相談会の開催も積極的に行い、更なるマッチング会員の増を図る。</p> <p>地域の独身者等を対象とした出会いイベントについては、CSR や CSV 活動によるイベントの開催への補助制度を創設（県費負担）し、出会いの機会を拡充させるとともに、イベント主催応援団に対して、よくあるイベントのトラブル事例等イベント開催時の注意事項について情報共有を図る研修を更に充実させることにより、イベントの円滑な実施につなげる。</p> <p><b>2 独身者に対するきめ細かな支援</b></p> <p><b>出会いの場を提供しても、出会いの機会を交際や結婚へとつなげることができない独身者に対する支援</b></p> <p>①お引合せ時の立会いや、交際中の支援を行うマッチングサポーターの養成及びスキルアップ研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア養成研修の開催（研修企画、募集広報、研修の実施、認定（面接審査））</li> <li>・ボランティアの質を確保し、継続して活動するためのスキルアップ研修の開催（研修企画、更新認定）</li> </ul> <p>②イベントに参加した独身者の出会いを交際へとつなぐイベントサポーターの養成及びスキルアップ</p>

<p>個別事業 内 容</p>	<p><b>研修の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア養成研修の開催(研修企画、募集広報、研修の実施、認定(面接審査))</li> <li>・ボランティアの質を確保し、継続して活動するためのスキルアップ研修の開催(研修企画、更新認定)</li> </ul> <p>③1対1のお引合せをする婚活サポーター養成及びスキルアップ研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア養成研修の開催(研修企画、募集広報、研修の実施、認定)</li> <li>・ボランティアの質を確保し、継続して活動するためのスキルアップ研修の開催(研修企画、更新認定)</li> </ul> <p>④応援コーナースタッフによる個別支援の充実(相談業務及び婚活講座とセット型の出張相談会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※マッチングシステム相談対応や説明含む。</li> <li>・独身者の相談への対応及び独身者の状況に合った事業の情報提供の実施</li> <li>・相談対応をしているスタッフが、独身者状況やニーズに合う婚活講座を企画(少人数)し、併せて相談会を行う。(このことで、自主的に相談はして来ない独身者の状況も把握し、相談業務での対応やボランティアに対する助言として活かす。)</li> </ul> <p>⇒(昨年度からの工夫点)</p> <p>イベントサポーターについては、予め決まっているイベント日に活動する必要があることから、サポーターの負担が大きく、事実上活動していただいているサポーターは限られていることから、H29 年度からは、原則応援団(主催者)において、イベントサポーターを配置していただくこととして、更なるサポーターの増を図る。</p> <p>また、マッチングサポーターについては、マッチングのお引合せ会場を提供する応援団やマッチングシステムを利用する市町村(出張登録会を開催する市町村も含む)、婚活サポーターについては、地域に詳しい応援団や市町村(団体女性部、理美容関係、生命保険関係)等に積極的に働き掛け、養成研修も増加させることによりサポーターの増を図る。</p> <p><b>3結婚の機運の醸成</b></p> <p><b>独身者にとって身近である職場内で、結婚を応援する取組みが行われることにより、結婚を前向きに考える機会を提供すると同時に、県内の飲食店で、多くのお引合せが行われることで、民間企業を巻き込んだ高知県内の結婚の機運の醸成につながる</b></p> <p>①県内の独身者の結婚を応援する民間企業等(応援団)の登録拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業や団体への結婚支援事業説明の個別訪問の実施</li> <li>・独身者に出会いの機会を提供する企業等が行う出会いイベントを県のサイトへ掲載(審査、登録必要)</li> </ul> <p>②マッチングシステムを活用したお引合せ場所の提供企業(応援団)の登録拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1のお引合せ場所としてのホテルや飲食店への協力依頼(登録)のための個別訪問(会員登録及びお引合せ回数が増えることにより、高知市、県東部、県西部でのお引合せ場所の確保は重要)</li> </ul> <p>⇒(昨年度からの工夫点)</p> <p>H29 年度から実施予定の「企業等における結婚支援事業」で配置する訪問相談員と連携して、企業等を訪問することにより、結婚への支援を希望する企業等に結婚支援の参画を促し、新規登録数を増大させる。</p> <p>※上記1～3の事業に取り組む際に、企業等に働きかけを行う場合は、企業等に特定の価値観や生き方を押し付けたり、推奨するようなことを行わない等、「結婚の希望を叶える環境整備に向けた企業・団体等の取組に関する検討会提言」の4取組に当たっての留意点を踏まえた上で実施することとする。</p>
<p>・市区町村との連携・役割分担の考え方及び具体的方法</p>	<p>結婚支援事業については、市町村においてもイベント等実施しているところもあるが、まだ取組は始まったばかりで、県が主導で実施しているところである。</p> <p>県主催事業については主に高知市での開催が多いため、高知市以外の首長から県東部や県西部での結婚支援事業の開催に対する要望が強い。マッチングシステムについては、サポートセンターを高知市だけでなく、県東部及び県西部にも開設したことで、事業の問合せをしてくる市町村も増えてきた。</p> <p>よって、引き続き、県主導で事業を展開し、市町村においては在住の独身者に対して事業の周知及び広報 PR とともに、マッチングシステムに関しては出張登録・閲覧会や出張相談コーナーの開催にご協力いただく。</p>

<p>・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法</p>	<p>民間事業においては、高額な金額を収める会員に対するきめ細かなアドバイス、出会いや交際に対するサポートなど徹底したサービスが提供されている。</p> <p>県においては、安価な金額での出会いの場の提供、ボランティアを活用した独身者を支援するサポート体制、独身者の相談に対する支援を行うことで、結婚の機運の醸成を図る。</p> <p>独身者への相談対応の中でも、県の事業を紹介するなかで、より多くのサービスの提供を希望する独身者に対しては民間事業所との違いも含めて説明し、独身者の経済状況、結婚に対する考え方などに応じて自分に合った事業を選択してもらう。</p> <p>また、県では、民間事業所を活用したボランティア養成講座やボランティアのスキルアップ研修を開催することで、民間事業所の独身者支援のスキルを学びボランティアの資質向上を図る。</p>
<p>・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項</p>	<p>(関係部局等) 文化生生活スポーツ部 県民生活・男女共同参画課</p> <p>(配慮すること)</p> <p>「結婚、妊娠・出産」は個人の自由であることを大前提に、より多くの方の支援を望む方の希望をより早く叶える環境づくりを行うことが重要である。</p> <p>そのため、独身者に対して、特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えるようなものになっていないか、また、多様性に関する配慮されているかについて、関係部局等と定期的に情報共有を行い、適時適切な方法で事業を進める。</p>
<p>・委託契約の際の契約方式</p>	<p><input type="checkbox"/>①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式等)      <input type="checkbox"/>②競争入札方式</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>③随意契約</p> <p>[事業の内容:高知家の出会い・結婚・子育て応援窓口委託業務(婚活サポーター業務を除く)]</p> <p>[随契の理由: 委託予定事業者は、平成 26 年から本県の出会い・結婚・子育て窓口運営業務、平成 28 年度は企業等間コーディネーター配置事業を受託しており、結婚支援事業に精通し、ノウハウを備えているとともに、多種多様な企業等の会員で構成されていることから、本事業の実施に当たって企業、団体等の協力を得やすい。]</p>